

## 第7回日本再生医療とリハビリテーション学会学術大会

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学 廣畑俊和

2025年10月11日、鹿児島大学稲盛会館において、第7回日本再生医療とリハビリテーション学会学術大会（大会長：鹿児島大学 下堂蘭恵教授）が開催されました。本学会は、再生医療、リハビリテーション医学、ロボット工学の3分野が連携し、再生医療の実装に対応したリハビリテーション治療とロボット工学の在り方を探究するとともに、医療・産業分野に新たな社会的価値を創出することを目標として活動しております。本学術大会では、「最大限の機能回復を目指す—再生医療、リハビリテーション、ロボット工学—」をテーマに、大会長講演、3領域の招待講演、ランチョンセミナー、ポスター発表者によるショットガンセッション、若手ワーキンググループ（WG）企画などの多彩なプログラムが実施されました。あわせて、ポスター・企業展示ブースにおいても活発なディスカッションが行われ、新鮮で示唆に富む内容となりました。なかでも若手WG企画では、奨励賞や旅費支援を含む研究発表の場が設けられ、分野の異なる研究者との交流を通じて、今後の研究活動の発展につながる



大会終了時の記念撮影

有意義な機会となりました。次回大会（大会長：大阪大学 紀ノ岡正博教授）は2026年11月7日に大阪で開催されます。



下堂蘭恵大会長の挨拶

## 第60回日本脊髄障害医学会

筑波大学医学医療系リハビリテーション医学 清水如代

2025年11月13～14日に、JPタワー ホール&カンファレンスにおいて、第60回日本脊髄障害医学会（会長：慶應義塾大学医学部整形外科学教室 中村雅也教授）が開催されました。東京駅からアクセスの良い会場には全国から500名以上が参加し、「脊髄障害に対する学際的挑戦」というテーマの下、活発な討論が繰り広げられました。慶應義塾大学の辻哲也教授による「脊髄損傷におけるニューロリハビリテーション最前線」、岡野栄之教授による「中枢神経系の再生医療と疾患・創薬研究」の特別講演を拝聴し、リハビリテーション治療の可能性を実感しました。私自身は「革新的なリハビリテーション」セッションにおいてシンポジストとして発表する機会をいただき、新しい知見を学び、刺激を受けました。排泄管理や呼吸管理など、生活の質（QOL）に直結するセッションが並行して行われていたため、どのセッションに参加するか迷うほどでした。本学会はリハビリテーション科、整形外



シンポジウム「革新的なリハビリテーション」座長とシンポジストの記念撮影

科、脳神経外科、泌尿器科、脳神経内科の医師だけでなく、看護師や療法士など様々なバックグラウンドをもつスペシャリストたちが一堂に会する学際的な学会であり、モチベーションが高まりました。第60回の節目にふさわしい充実した内容であり、素晴らしい学術集會に参加できたことに感謝申し上げます。